

ドキュメンタリー映画 2017年製作

原田 要

平和への祈り

元ゼロ戦パイロットの100年

殺さなければ殺される、
それが戦争です



日程 **2017年7月29日^土～8月12日^土** (15日間)

会場 **長野相生座・ロキシー**

1日2回上映

— 創業100周年記念特別上映会 —

監督：宮尾哲雄 / 企画・製作：戦争体験を継承する会

語り：檀ふみ



後援：長野県教育委員会

特別協賛： **みずほ** 株式会社 **みずすコーポレーション**

ドキュメンタリー映画 2017年製作

原田 要 平和への祈り

元ゼロ戦パイロットの100年

太平洋戦争中、日本海軍の主力戦闘機「ゼロ戦」に搭乗し、多くの敵機を撃墜した名パイロット原田要。「殺さなければ殺される」—その思いで必死に戦い抜いた。戦後は幼児教育に情熱を注いだ一方、自らの戦争体験を後世に伝えることを使命とし、平和や命の尊さを訴えつづけた。

波乱に満ちた原田要の生涯を通して、あの戦争とは、あの時代とは何だったのかを改めて問い直す。



故原田 要さん (写真右)

1916年上水内郡浅川村(現長野市浅川)生まれ。17歳で旧日本海軍に志願、ゼロ戦パイロットとしてハワイ真珠湾攻撃やミッドウェー海戦などに参加、敵機を次々に撃墜した。戦後、50年にわたって幼稚園を経営し、命の大切さを子供たちに教えた。晩年の25年間は、講演会を通じて戦争の悲惨な実相を語り続けた。2016年5月死去(享年99)。

監督・構成・編集 宮尾哲雄 (写真左)

1950年長野県須坂市出身。
フリーディレクター。元NBS長野放送報道局長。記者やディレクターとしてドキュメンタリー番組を制作。代表作は「よみがえれ諏訪湖」「聴診器を温めて」「われに短歌ありき」など。日本民間放送連盟賞、ギャラクシー賞など受賞歴多数。

戦争とは何か？ 日本はなぜ戦争への道を選んだのか？
この100年間の時代背景を豊富な記録写真や軍事資料によって明らかにする。

ワイツゼッカー(元ドイツ大統領)の演説

過去に目を閉じるものは現在にも盲目である



映画製作のご支援をお願いします！

私たちはこの映画の製作費の一部を、信濃毎日新聞社と八十二銀行などが共同運営する地域特化型購入型クラウドファンディング「CF信州」で調達します。クラウドファンディングは、インターネットを通じてみなさまから資金調達する仕組みです。ご支援いただいた返礼として、映画券やエンドロール・DVDへご芳名記載などをご用意しております。詳細は下記サイトまで。ご支援のほど宜しくお願ひ申し上げます。(募集期間 3月1日～5月19日)

「CF信州」ホームページ <https://cf-shinshu.jp/>

CF信州

現金又は銀行振込もできます

お問い合わせ 事務局：ギャラリープラスワン (木曜日休館)
〒382-0081 長野県須坂市横町415 1F 電話：026-214-7231

「戦争体験を継承する会」 <http://sensou.suzaka.jp/>

©宮尾哲雄